



DB751

ユーザー・ガイド

DB751は真空管プリアンプとMOSFETアウトプットを採用した究極のハイブリッド・ベース・アンプです。DB750のサウンドを継承しつつ、EQセクション、コントロール・レイアウト、デタッチャブル・ラック・イヤー、冷却ファンを改善しています。DB751はプレイする音楽を問わない、十分なヘッドルームを備えています。

安全上のご注意

ご使用になる前に必ずお読みください

ここに記載した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の方々への危害や損害を未然に防ぐためのものです。

注意事項は誤った取り扱いで生じる危害や損害の大きさ、または切迫の程度によって、内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。これらは、あなたや他の方々の安全や機器の保全に関わる重要な内容ですので、よく理解した上で必ずお守りください。

マークについて

製品には下記のマークが表示されています。



マークには次のような意味があります。



このマークは、機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。



このマークは注意喚起シンボルであり、取扱説明書などに一般的な注意、警告、危険の説明が記載されていることを表しています。

火災・感電・人身障害の危険を防止するには

図記号の例

	△記号は、注意（危険、警告を含む）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれています。左の図は「一般的な注意、警告、危険」を表しています。
	⊘記号は、禁止（してはいけないこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「分解禁止」を表しています。
	●記号は、強制（必ず行うこと）を示しています。記号の中には、具体的な注意内容が描かれることがあります。左の図は「電源プラグをコンセントから抜くこと」を表しています。

以下の指示を守ってください



この注意事項を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が予想されます



- ・ 電源プラグは、必ずAC100Vの電源コンセントに差し込む。
- ・ 電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりを拭き取る。感電やショートของ恐れがあります。
- ・ 本製品はコンセントの近くに設置し、電源プラグへ容易に手が届くようにする。



- ・ 次のような場合には、直ちに電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
 - 電源コードやプラグが破損したとき
 - 異物が内部に入ったとき
 - 製品に異常や故障が生じたとき
 修理が必要なときは、コルグ・サービス・センターへ依頼してください。



- ・ 本製品を分解したり改造したりしない。



- ・ 修理、部品の交換などで、取扱説明書に書かれていること以外は絶対にしない。
- ・ 電源コードを無理に曲げたり、発熱する機器に近づけない。また、電源コードの上に重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

- ・ 大音量や不快な程度の音量で長時間使用しない。万一、聴力低下や耳鳴りを感じたら、専門の医師に相談してください。

- ・ 本製品に異物（燃えやすいもの、硬貨、針金など）を入れない。

- ・ 温度が極端に高い場所（直射日光の当たる場所、暖房機器の近く、発熱する機器の上など）で使用や保管はしない。

- ・ 振動の多い場所で使用や保管はしない。

- ・ ホコリの多い場所で使用や保管はしない。



- ・ 風呂場、シャワー室で使用や保管はしない。



- ・ 雨天時の野外のように、湿気の多い場所や水滴のかかる場所で、使用や保管はしない。

- ・ 本製品の上に、花瓶のような液体が入ったものを置かない。

- ・ 本製品に液体をこぼさない。



- ・ 濡れた手で本製品を使用しない。

注意

この注意事項を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性
または物理的損害が発生する可能性があります



- ・ 正常な通気が妨げられない所に設置して使用する。
- ・ ラジオ、テレビ、電子機器などから十分に離して使用する。
ラジオやテレビ等に接近して使用すると、本製品が雑音を受けて誤動作する場合があります。また、ラジオ、テレビ等に雑音が入ることがあります。
- ・ 外装のお手入れは、乾いた柔らかい布を使って軽く拭く。
- ・ 電源コードをコンセントから抜き差しするときは、必ず電源プラグを持つ。



- ・ 本製品を使用しないときは、電源プラグをコンセントから抜く。
電源スイッチをオフにしても、製品は完全に電源から切断されていません。



- ・ 付属の電源コードは他の電気機器で使用しない。
付属の電源コードは本製品専用です。他の機器では使用できません。
- ・ 他の電気機器の電源コードと一緒にタコ足配線をしない。
本製品の定格消費電力に合ったコンセントに接続してください。
- ・ スイッチやツマミなどに必要以上の力を加えない。
故障の原因になります。
- ・ 外装のお手入れに、ベンジンやシンナー系の液体、コンパウンド質、強燃性のポリッシャーを使用しない。
- ・ 不安定な場所に置かない。
本製品が転倒してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- ・ 本製品の上に乗ったり、重いものをのせたりしない。
本製品が転倒または損傷してお客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。
- ・ 本製品の隙間に指などを入れない。
お客様がけがをしたり、本製品が故障する恐れがあります。

フロントパネル

DB751



インプット

-6 dB スイッチ

-6 dBのパッド回路が作動して、高出力のベースのゲインを調整します。アクティブ回路搭載のベース等高出力のベースを接続する際に使用してください。

ゲイン

プリアンプ部のゲインをコントロールします。

ブライト・スイッチ

5-7kHzの周波数帯域に対し5 dBのブーストを加えます。

トレブル・ノブ

4kHzの周波数に対し、+12 dBから-7 dBの範囲で信号をブースト/カットします。

ミッドレンジ・ノブ

750Hzの周波数に対し、+12 dBから-12 dBの範囲で信号をブースト/カットします。

ベース・ノブ

40Hzの周波数に対し、+12 dBから-12 dBの範囲で信号をブースト/カットします。

ディープ・スイッチ

30Hzの周波数帯域に対し5 dBのブーストを加えます。

マスター・ノブ

パワーアンプへの出力を設定します。

クリップ・ライト

プリアンプがクリップした時に点滅します。ゲインまたはEQ、あるいはマスター・ボリュームを調節してください。

FX センド

外部エフェクトへ信号を出力する端子です。

FX リターン

外部エフェクトから信号を戻す端子です。

エフェクト・ループ・セクション

SEND

外部エフェクターへ送る信号のレベルを調整します。このポットはプッシュ / プル構造になっており、ライン・レベル、楽器レベルの切り替えが可能となっています。これによりプル・ポジションにてストンプ・ボックス・タイプのエフェクターをエフェクト・ループの中で使用することが可能となります。

RETURN

外部エフェクターから戻る信号のレベルを調整します。このポットもプッシュ / プル構造になっており、パラレル、シリアルの切り替えができます。通常のポジションはパラレル接続でリターンしたエフェクト信号はドライ音にミックスされます。プル・ポジションではシリアル接続となり、信号全体にエフェクト効果がかかります。

XLR バランス・アウト

この端子からは -32 dB のバランス信号が出力されます。ライブなどでメイン・コンソールへ出力する際に使用します。このアウトプット・レベルはミキサーのプリアンプ部へ入力することを想定したレベルです。PRE-EQ を選択するとプリアンプ部直後 (EQ コントロールの直前) の信号を出力します。この状態でメイン・コンソールでその会場に最適な EQ 調整が可能となります。ステージ上では DB751 で設定した EQ のセッティングを聴くことができます。もしメイン・コンソールで DB751 の EQ 設定後の信号を出力することを求められたら POST-EQ を選択してください。DB751 のバランス・アウトでは最高級の Jensen 製出力トランスを使用しています。もしグラウンド・ノイズが聞こえたら ground-lift スイッチを lift 側へ選択してください。

フット・スイッチ

専用フット・スイッチ (FS751 別売) を接続し、ミュート機能が使用できます。

Aguilar DB751の 自己診断および保護機能

DB751 には自己診断および保護機能が搭載されています。本体の電源を投入した際に STATUS LED () が約 45 秒間点滅します。この間に下記のパラメータを自己診断した自動的に適正な状態へ調整します。

1. 電源投入時の B+ 高電圧はゆっくりとレベルを上げながらプリ管へ供給され、真空管へ電流が完全に供給される前に真空管のヒーターが充分温まるように配慮されています。
2. アンプのアウトプットでの DC オフセットをモニターします。何も検知されなかった場合 (正常な状態) にのみ DB751 は自己診断のプロセスを継続します。
3. MOSFET ヒート・シンクの温度を検知します。この場合も正常な温度が検知された場合にのみ自己診断のプロセスが継続されます。
4. 上記の電圧、オフセット、温度が全て正常であると判断できたときに初めてインプット、アウトプットのリレーが起動し、OPERATE LED () が点灯します。このとき STATUS LED の点滅は止まります。この状態で DB751 は通常に使用可能な状態になります。
5. 上記の自己診断機能はアンプを使用している間絶えずモニターされ続け、ユーザーの不注意や事故によるアンプまたはスピーカーの破損を防ぎます。問題が発生したときには STATUS LED が点滅を始めます。
6. もし電源投入時に STATUS LED がいつまでも点滅を止めない、または使用中に STATUS LED が点滅を始めた場合はシステムに異常があることを示します。その際はお買い求めになられた販売店で修理が必要となります。

アフターサービス

■ 保証書

本製品には、保証書が添付されています。
お買い求めの際に、販売店が所定事項を記入いたしますので、「お買い上げ日」、「販売店」等の記入をご確認ください。記入がないものは無効となります。
なお、保証書は再発行致しませんので紛失しないように大切に保管してください。

■ 保証期間

お買い上げいただいた日より一年間です。

■ 保証期間中の修理

保証規定に基づいて修理いたします。詳しくは保証書をご覧ください。
本製品と共に保証書を必ずご持参の上、修理を依頼してください。

■ 保証期間経過後の修理

修理することによって性能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料で修理させていただきます。
ただし、補修用性能部品(電子回路など)に機能維持のために必要な部品の入手が困難な場合は、修理をお受けすることができませんのでご了承ください。また、外装部品(パネルなど)の修理、交換は、類似の代替品を使用することもありますので、あらかじめお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理を依頼される前に

故障かな?とお思いになったらまず取扱説明書をよくお読みのうえ、もう一度ご確認ください。
それでも異常があるときはお買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。

■ 修理時のお願い

修理に出す際は、輸送時の損傷等を防ぐため、ご購入されたときの箱と梱包材をご使用ください。

■ ご質問、ご相談について

アフターサービスについてのご質問、ご相談は、お買い上げの販売店、最寄りのコルグ営業所、またはサービス・センターへお問い合わせください。
商品のお取り扱いに関するご質問、ご相談は、お客様相談窓口へお問い合わせください。

WARNING!

この英文は日本国内で購入された外国人のお客様のための注意事項です
This Product is only suitable for sale in Japan.
Properly qualified service is not available for this product if purchased elsewhere. Any unauthorised modification or removal of original serial number will disqualify this product from warranty protection.

株式会社コルグ

お客様相談窓口 TEL 03 (5355) 5056

● サービス・センター：〒168-0073 東京都杉並区下高井戸1-15-12
TEL: 03(5355)3537

輸入販売元: KORG Import Division
〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2
WEB SITE: <http://www.korg.co.jp/KID/index.html>

KORG

本社: 〒206-0812 東京都稲城市矢野口4015-2

URL: <http://www.korg.co.jp/>